

官民共創地域課題解決型ワークショップ
共創JAM Session in 夕張市





地域課題先進地 夕張で、地域の未来を共創する

財政破綻から10年、夕張市にはこれから解決していかなくてはならない課題が山積しています。そしてその一つ一つが、国内唯一の財政破綻自治体である夕張だからこそその課題でありながら、これらの課題を見聞きした多くの人が、こう言います。

「これは夕張だけの問題じゃない。夕張が直面している課題は、日本の地域社会が近い将来直面する課題だ」と。

地域に密着し生活者のリアルに向き合い続ける、夕張市の次代を担う行政職員の知恵と情熱。

民間企業が日々の事業の中で蓄積している知恵と工夫。

私たちは、これらのリソースを掛け合わせながら、これまでにない地域の課題を解決するアイデアと「課題を生まない社会の在り方」を検討していきます。

地域課題先進地、夕張に暮らす8,600人のよりよい未来を生み出す一歩を共につくりたい。

この地から、地域の未来を担う力を生み出していくために。

このチャレンジを一緒に歩んでいただければ幸いです。

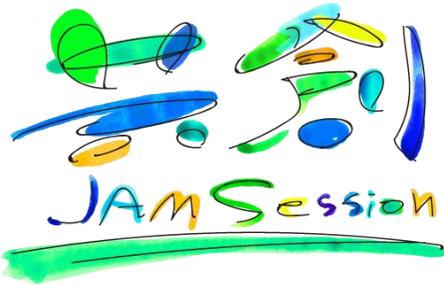
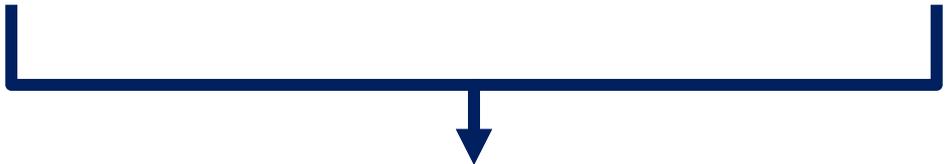
意欲ある行政職員と民間企業の次代を担う人材が集い、
地域の課題を解決するためのアイデアを共創する場



次期リーダーとなり、
これからの夕張市の未来を担う
意欲ある30代の若手職員8名



次期リーダーとして、
組織をけん引することを期待される
様々な民間企業の若手社員



社会的な課題解決につながる価値創出をけん引する 次代のリーダーの育成

共創JAM Session 3つの特徴



夕張職員のリーダー育成

- 市民に寄り添いながら、中長期的な視座で課題を設定する力の向上
- 柔軟な発想とビジネスの視点で持続可能な事業を立案する力の向上
- 今後、夕張で課題解決に向き合う上でのリーダーシップの源泉（軸・WHY）の確立

民間企業社員のリーダー育成

- 表層的な現象ではなく、生活者の課題を考え抜き、解決策を考案する力の向上
- 従来の延長線上ではなく、未来志向な在るべき姿からビジョンを描く力の向上
- 今後、組織をけん引し、価値創出していくリーダーとしての働く目的・意義の再発見



RESTART YUBARI
Challenge More.

はたらく場づくり

急速に人口が減少する中、市内需要の低下→仕事の減少→移住検討者の増加→さらなる人口流出、という悪循環が市内には発生しています。このような悪循環に歯止めをかけるため、夕張市では地域に根ざした働く場の創出に取り組もうとしています。

キーワード
テレワーク、リモートワーク、働き方改革、多様な働き方の実現、パラレルキャリア、複業など

超過疎地での子育て

数少ない児童向け施設、市内移動の問題など、子育て中の家族は様々な課題と向き合っています。そんな中、未来の社会のステークホルダーである子どもたちの成長を支援する「夕張ならではの子育て事業・教育事業」づくりに向けた挑戦が始まっています。

キーワード
少子化社会の子育て環境整備、地域に開かれた教育、へき地教育、ICT活用、子育て世帯の支援 など

超高齢化社会
コミュニティ形成

鉄道廃線、老朽化住宅建替え、インフラ効率悪化、50%を超える高齢化率。これらの課題を解決するためコンパクトシティ構想が掲げられています。慣れ親しんだ土地を離れ新たな環境で生活することに対する不安を解消し、新たなコミュニティ形成事業に取り組めます。

キーワード
介護・医療・健康増進、小さな拠点、コンパクトシティ、高齢化社会、つながり、幸福度指標、人口減少社会のインフラ

夕張市内

テーマ検討 (夕張市職員のみ)



6月21日 (火)

夕張市職員によるテーマ検討会。
(夕張市の長期ビジョンを見据え、現状調査を行いながら解決すべき課題を設定すべく、前提となる研修を実施)

共創型ワークショップ



9月4日 (月) 18時 歓迎会
9月5日 (火) 9時~6日 (水) 17時

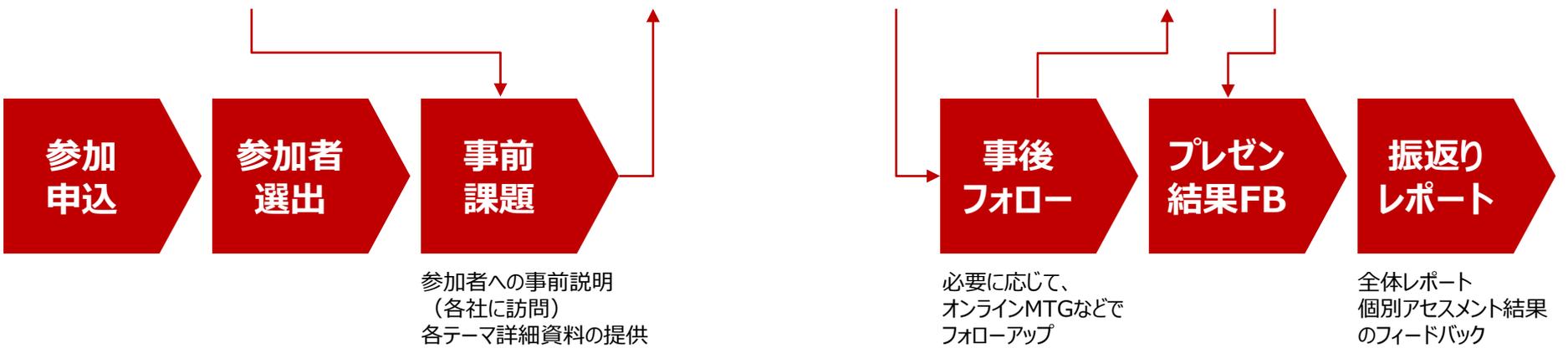
テーマ別にチームに分かれ、調査・フィールドワークに取り組みながら、事業案について検討する。

市幹部へのプレゼンテーション



9月下旬予定
※別途予定調整

チームごとに検討した内容を市の幹部が参加するMTGにてプレゼンテーション。次年度の事業採択についての決議を求める。



※プレゼン結果によっては2018年度の予算化を目指す

開催概要 (9月5日、6日)

時間	内容 (9/5)
9:00	1. イン트로ダクション
9:15	2. フィールドワーク (2時間) 夕張職員とともに、市内のフィールドワーク (チームで市内視察)
11:15	3. チーム編成・テーマ選択 フィールドワークなども含め、自身が最も貢献できるテーマを選択し、チーム編成を行う
11:45	4. アイスブレイク
12:00	5. チームごとにランチタイム
13:00	6. 基調講演：官民協働での地域活性事例について 慶応義塾大学 SFC研究所 社会イノベーション・ラボ 政策・メディア研究科特任教授 小島 敏明
13:30	7. 事業策定フレームワークに基づいた事業検討 ■フレームワーク ①与件整理 -目指すべき状態とは？現状とのギャップとは？ ②事業内容設計 -「誰の」「どんな課題を」「どうやって」解決するのか？ ③事業モデル設計 -「主要なパートナーは誰か？」「必要なリソースは何か？」「持続するためにどうするか？」 ■方針 ①机上の空論ではなく、仮説検証を行い議論をする ②夕張ならではの事業案を検討する ③メンバー全員による納得解 (×妥当な落としどころ) を生み出す
16:30	8. 中間発表とフィードバック ■ポイント ・問題設定が適切であるか？ ・仮説を検証した上で検討しているか？ (実際に生活者の声を聴いた上で仮説を設定しているか？) ・事業内容を検討するにあたって、考えるべき事
17:30	チームごとに自由時間

時間	内容 (9/6)
9:00	1. 集合・イントロダクション
11:00	2. チーム単位で中間報告 小島先生ならびにファシリテーターに対して、各チームからプレゼンテーション・フィードバック ■ポイント ・事業内容を妥当性 (本当に効果があると言い切れる理由は何か？証拠は？) ・事業内容の実現性 (技術的な課題に対する解決策は？) ・事業内容の持続性 (財源ならびに収益性は？)
13:00	3. フィードバック内容を踏まえ、再検討
15:00	4. 発表 ・チームごとに発表 ・相互に、企画内容についてフィードバックを行う ・小島先生 講評
16:00	5. 事業提案までのToDoの棚卸
16:40	6. 振り返り ・全員でチェックアウト
17:00	終了予定

経験豊富なファシリテーターとプロフェッショナル・アドバイザー陣が 各チームのディスカッションを全面的にサポート



メインファシリテーター

澤田哲也

ミテモ株式会社 代表取締役 / 株式会社インソース 取締役

社会人教育・研修会社 (株)インソースにおいて、大手企業の次世代リーダー育成や組織活性化支援プロジェクトの企画・コンサルティングに従事。その後、教育専門の制作会社 ミテモ株式会社を設立。オンライン教育事業、社会イノベーション支援事業、官民協働型地域人材育成プロジェクト「共創JAM Session」など、組織・地域の課題解決につながる育成事業やプロジェクトの立上げを行う。



サブファシリテーター

風間美穂

Creative Catalyst / 一般社団法人Think the Earth / 一般社団法人リリース 共同代表

「サステナブルな社会/世界を引き寄せたい」と奮闘する方々のサポートをするため、クリエイティブなプロジェクトやコミュニケーションの橋渡しをするカタリストであり、プロデューサー。企業や政府、自治体、NPO/NGOやクリエイターなどの間を結び“エコロジーとエコノミーの共存”を目指すプロジェクトを手がける。一般社団法人Think the Earthでは2007年より“水” “森” “CSV”をテーマに据えた協働事業（AQUA Social Fes!!など）に携わるほか、2013年から始動したRELEASE;では京都市を中心に、大阪や水俣でも産官学民連携イノベーションプログラムを展開している。

※上記のほか、テーマごとに専門家をアドバイザーとしてアサインする予定

経験豊富なファシリテーターとプロフェッショナル・アドバイザー陣が 各チームのディスカッションを全面的にサポート

アドバイザー

小島敏明

慶応義塾大学 SFC研究所 社会イノベーション・ラボ
政策・メディア研究科特任教授

流通系コンサルタント事務所、マーケティング会社を経て、1990年乃村工藝社に入社。
プランニングディレクターとして、企業PR施設、レジャー施設、テーマパーク、複合文化施設等におけるプロジェクトに
参画。その後、新規事業開発、事業戦略を担当する一方で、慶応義塾大学SFC研究所にて、「場」を起点とし
たマーケティングやイノベーションに関する研究を進める。

【著書】

「新しい価値を生む「場」のつくり方」(東洋経済新報社Think!, 2013年 単著)
「地域を変えるミュージアムー未来を育む場のデザイン」(英治出版, 2013年 共著)
「ソーシャルインパクト」(産学社, 2014年 共著)
「東川スタイル」(産学社, 2016年 編著)
「ソーシャルパワーの時代」(産学社, 2016年 共著)
他多数

【論文】

「CSR活動とイベントの役割」(イベント学会研究大会抄録, 2008年9月)
「ソーシャル・イノベーションの場づくりとしてのミュージアム・マーケティング」(日本ミュージアム・マネジメント学会 研
究紀要 第12号, 2008年3月)
「まちあるき型イベントとしての観光ガイド事業の現状と可能性」(イベント学会研究大会抄録, 2011年)
他多数

募集要項

年代

20代後半～40代前半

職歴

現職での勤務経験 2年以上

資質

- ✓ 困難な環境にあっても、他責になることなく前向きに取り組むことができる
- ✓ 他者に対する貢献する姿勢がある
- ✓ 自身の成長に積極的である

上記に合致する、次代のリーダー候補となる方を参加者としてご推薦ください。

参加方法

参加費用

30万円 / 社 * 税別

1社様あたり2名まで参加可能いただけます。
現地での宿泊費用は上記金額に含まれます。
現地までの交通は、お客様にてご手配ください。

※9/4の昼の新千歳空港～夕張市内の会場、
9/6の研修終了後の夕張市内の会場～新千歳空港までの交通は、当社が手配するマイクロバスもご利用いただけます。

参加申込締切

8月18日（金）

■ 問い合わせ先

ミテモ株式会社 共創JAM Session 運営事務局
03-3518-0611 / info@mitemo.co.jp

全般

Q.参加者の職種の制限はあるか？

A.特にございません。

Q.ワークショップの1日だけ参加させることはできるか？

A.申し訳ありませんが、ワークショップは9月4日の懇親会から9月6日の終了まで、通して参加いただける方のみご参加いただけます。

Q.これまで、夕張市との関係がなかったが、参加できるか？

A.はい、本事業の意義、取組に賛同いただけるお客様であれば、特に問題ございません。

プログラムについて

Q.事前課題とはどの程度のボリュームを想定しているか？

A.ワークショップ参加前に以下の課題に取り組んでいただきます。

①各テーマのサマリー（A4 6ページ程度）の読み込み

②夕張の概要説明eラーニング（15分程度）

③上記2点を踏まえ、各自リサーチ

また、ディスカッションの前提となる問題解決思考についても、eラーニング環境をご用意します。必要に応じてご受講いただけます。

Q.当日の人事担当者の見学は可能か？

A.可能です。お申込み時に、見学希望の旨、事務局にお申し出ください。

Q.ワークショップ後、事後課題などはあるか？

A.チームの進行状況によっては、ワークショップ後に各自リサーチなどを行い、情報共有を行いながら、企画書をまとめるタスクが宿題となる可能性があります。

Q.市幹部へのプレゼンテーションは参加必須か？

A.必須ではありません。原則として、夕張市の職員からチームで検討した内容を幹部にプレゼンテーションをしていただきます。もしご同席いただける場合はご参加ください。

Q.ワークショップ当日の会場と宿泊施設は？

A.旧「北海道立夕張北高等学校」の校舎を改装した「合宿の宿ひまわり」を予定しています。（会場、宿泊ともに）

Q.最終的な成果物は何か？

A.各チームの企画のほか、当社から全体総括としてのレポート、参加者ごとのアセスメントシート（観察シート）を納品いたします。

その他

Q.自社の広報活動、CSR活動、採用活動などで、本取組を紹介してよいか？

A.はい、問題ございません。